

♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

10月に宇久井半島で見られるなかまたち！

千



「カモ科 ヒドリガモ」
冬鳥。全長49cm。雄は額から頭頂にかけてのクリーム色がよく目立つ。日中は陸で休憩している事が多い。

千



「カモ科 スズガモ」
冬鳥。全長45cm。雄は頭部から胸までは黒い。上面は白く、黒い波状斑がある。潜水して採食する。

駒



「キンカメムシ科 オオキンカメムシ」
体長20-25mm。集団越冬することで知られる南方系の大型カメムシ。時には何百匹もの大群になる。

馬



★「クワ科 オオイタビ」★
常緑つる性の木本。関東以西の特に海岸近くの暖地に自生する。イチジク属の為、壺のような花囊の中に花が咲く。



★「キキョウ科 ツリガネニンジン」★
多年草。林縁や草刈りなどで手入れされた所を好む。花を釣鐘に、根を朝鮮人参に見立てて名が付いた。



★「タデ科 イタドリの実」★
多年草。この辺りではゴンパチと呼ぶ。春先の新芽・若い茎は酸味があり食用として好まれる。

ブナ科のドングリ



★「アラカシ」★
常緑高木。果実は当年の10-11月に熟す。公園樹として多く植えられる。



★「ウバメガシ」★
常緑小高木。果実は翌年の10-11月に熟す。備長炭の原料として有名。



★「クヌギ」★
落葉高木。果実は翌年の10月に熟す。薪やシイタケの原木とし利用。

☆印はビジターセンター周辺にもありますので、車イスで見に行くこともできますよ♪

千・・・千尋の浜、 駒・・・駒ヶ崎、 馬・・・駐車場で観察することができます。

暖かい宇久井半島で越冬するため、昆虫や鳥が渡ってきました。
果実も熟し始め、秋ならではの景色が広がっています。蚊対策をして散策を楽しみましょう♪

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

宇久井ビジターセンター
2020年10月後半号



吉野熊野国立公園 宇久井半島見どころマップ 秋版

＜散策時間の目安＞

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m

フェリーターミナル方面
通行できません

千尋の浜 (上地の浜)

外の取

自然観察の森

松尾展望広場

赤灯台

地玉(じこく)の浜

駒ヶ崎灯台



至 R42

キアシシギ
ソリハシシギ
コチドリ

メジロ
キシバト
ヒヨドリ
ウグイス

南紀勝浦
休暇村

上野展望台

敵船監視場跡

オガタマノキ

蛭子神社跡地

ヤマモモ

ヤブツバキ

ハゼノキ
(メジロがよく食べに来ます)

ヒサカキ

マテバシイ

ウバメガシ

ヤマモモ

ヒサカキ

エソビタキ・コゲラ

カラスザンショウ

ヒサカキ

アオノクマタケラン

ツツブキ

クスノキ

シロダモ

シロダモ

ツツブキ

アオノクマタケラン

クスノキ

スタジイ

タイミンタチバナ

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチノキ

モチツツジ

オオキンカメムシ

タフノキ

木のすき間から浜が見えます。

灯台まであと4分

オオキンカメムシ

シロダモ

ホルトノキ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

至休暇村

トベラ

ヤブツバキ

アキグミ

ヤブツバキ

凡例

駐車場

あすまや

案内板

展望地

水道

お手洗い

自動販売機

車道

舗装路

林内の遊歩道

階段

